



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151（代表）
担当者の所属・氏名 臨床研修部・木下 朋

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修部 木下 朋

【指導医】

聖路加国際病院 腫瘍内科 橋本 淳

乳癌の髄膜播種と診断された方を対象とした研究

1. 研究の対象

2003年8月から2021年12月に当院で乳癌の髄膜播種と診断された方。

2. 研究の目的・方法

髄膜播種は脳の周りの髄膜への転移で、非常に進行が速いことで知られています。乳癌、肺癌、皮膚癌などで頻度が高く、乳癌では3～34%にみられると報告されています。髄膜播種と診断された時にはすでに病状が進行していることが多く、治療も確立しておらず、診断後の経過や治療に関して未知の領域が多くあります。今までの研究で、年齢や神経症状、診断された時の身体機能などが、その後の経過に影響することが知られていますが、それぞれの相互作用などについて調べた研究は非常に限られています。

今回の研究では、乳癌の髄膜播種と診断された方の、年齢、症状、全身状態、血液検査や画像検査の結果、治療法などについて調査し、それらが診断後の経過にどのように影響するのかを明らかにすることを目的としています。診断後の経過に影響する因子やその相互作用などが見つければ、乳癌の髄膜播種と診断された方に対し最良の乳癌診の提供が可能となることが期待されます。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

カルテ番号、年齢、性別、年齢、身長、体重、全身状態（Performance Status）、乳癌の状況（病期、組織型、ホルモン受容体、HER2、前治療内容（内分泌療法、化学療法、放射線療法）など）、併存疾患（既往症含む）、乳癌診断日（初発診断日、転移・再発乳癌診断日）、髄膜播種診断日、髄膜播種診断時の症状、髄膜播種に対する治療内容（治療開始日、治療効果、副作用含む）など血液検査、髄液検査、画像検査（CT検査、MRI検査など）等